



和歌山大学附属図書館メールマガジン

第5号

平成 18 年 10 月 16 日

図書館からのお知らせ

= 開館時間の変更 =

10月2日から、授業開始のため開館時間が次のとおりになっております。

平日 9:00~20:30

土曜日 10:00~17:00

= 学生図書の配架場所変更 =

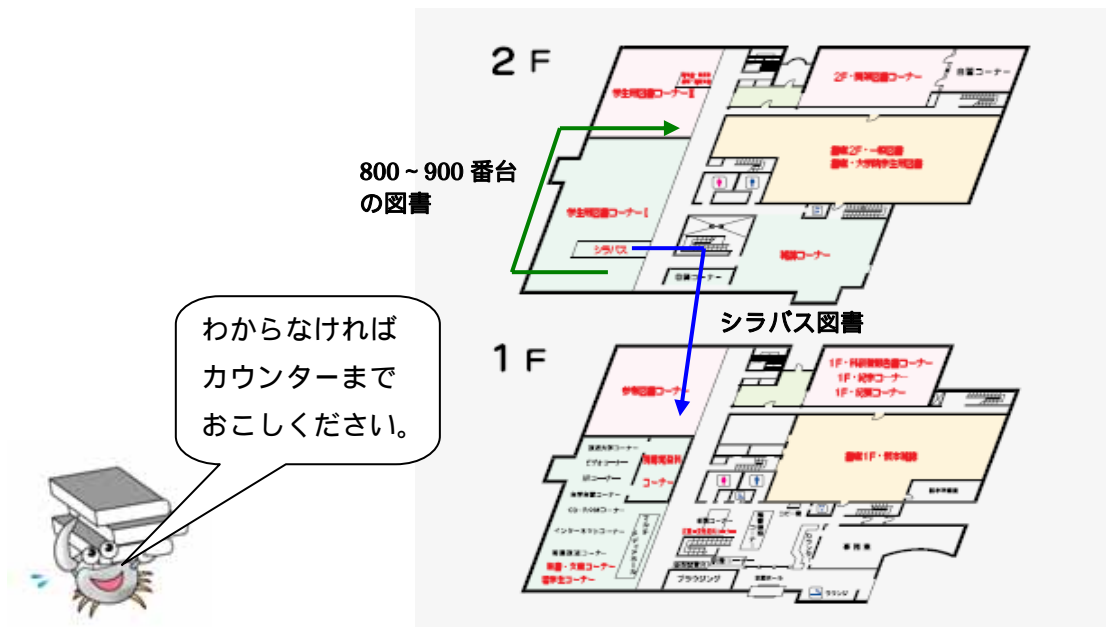
シラバスコーナー(2階)の配架場所変更

シラバスコーナー(2階)は、参考図書コーナー(1階)横に移設しました。(青矢印)

学生用図書コーナー(2階)の図書の配架場所の変更

請求記号の800~900番台の図書は、学生用図書コーナー(2階)横に配架しました。(緑矢印)

請求記号の000~700番台の図書は、学生用図書コーナー(2階)内で移動作業をしております。ご迷惑をおかけしておりますがもうしばらくお待ちください。



オンラインデータベースの案内

今回は、『第一法規法情報総合データベース』です。

このデータベースは、判例書誌（約 17 万件）／判例要旨（約 30 万件）／判例本文フルテキスト（約 15 万件）が収録されている第一法規(株)総合判例データベース『判例体系 CD-ROM』の内容がオンラインで利用可能です。検索システムが CD-ROM 版よりさらに強化されています。

利用するには、図書館のホームページから「大学内サービス」をクリックし、さらに「電子ジャーナル」をクリックして「第一法規法情報総合データベース」を見てください。(和歌山大学構内に設置しているパソコンで利用できます。終了時には必ず Logout ボタンをクリックしてください。)

アドレスはこちら <http://www.lib.wakayama-u.ac.jp/>



コーナーの紹介

今回は、**新書・文庫コーナー**（1階留学生コーナー横）を紹介します。幅広い分野の資料で、比較的軽い読み物を収めた**新書・文庫等**を一ヶ所にまとめて配架しました。配架資料は、岩波新書、中公新書、岩波文庫、集英社新書等が約 5,000 冊です。



「和大教員メッセ」に出展

日時：平成18年6月29日(木)午前11時～午後7時

会場：和歌山ビッグホエール

附属図書館では、和歌山大学附属図書館および和歌山地域コンソーシアム図書館の概要のポスターと、配布用に和歌山地域コンソーシアム図書館の利用案内を用意しました。

附属図書館ブースには、約60名の方が来られました。県民の方々には、親しみのある図書館として、気軽に利用していただきたいと思っております。



附属中学生の職場体験学習

附属図書館では、本年8月1日(火)から2日(水)の2日間にわたり、和歌山大学教育学部附属中学校生徒二人の職場体験学習を受け入れました。

この職場体験学習は、仕事などの体験活動や社会へ積極的に関わる体験を通して、働く楽しさ・厳しさや地域社会における人々とのかかわり方などを学び、そして共に生きる心や感謝の心を育むことを目的として実施したものです。

二人の中学生は、まず開館準備からはじめ、カウンターでの図書の貸出・返却処理、新着雑誌・図書および返却図書の配架、図書のラベル貼りなどを実際に体験しました。



カウンターの様子



雑誌の配架の様子

書庫利用の勧め

何をするのにもまずもって重要なのは、「自分の目で見ると」ということです。現代に生きる私たちの経済、政治的営みを理解しようとする時、まずは自分の目でもって社会現象を把握しようとする態度が重要となります。

けれども「自分の目で見ると」ということは容易には進みません。例えば、国際金融システムを知りたいと思っても、ウォールストリートに行くには時間もお金もかかりますし、テロ問題で厳重に警備されている連邦準備銀行やニューヨーク証券取引所へ旅行者が立ち入れば大騒ぎとなります。さらに、それが過ぎ去った日のことであれば、人々の活動を直視することは不可能です。仮に過去の人々の営みを探求すべくタイムマシンに乗って明治時代の日本に飛んだとしても、一体どこで何をしたら良いのか見当つきませんか？

幸運なことに人類はその叡智によって文字を記録する術を発明しました。人は書物によって様々な知見を得ることができます。

ところで皆さんは、専門書と史料の違いをご存知でしょうか？専門書とは、史料やデータをもとに研究者やエコノミストなどの識者が、自分の意見を世に問うために発した書物を言います。しかし、専門書はあくまでも他人の目から見た社会現象の説明にすぎません。事物に対する真実の理解への近道は、個々人が史料を読み、自分の解釈によって世の中の仕組みを学ぼうとすることです。そして、このことこそが「自分の目で見ると」ということにほかなりません。

和歌山大学の図書館は、開架図書と閉架図書からなります。開架図書には教科書と専門書、閉架図書には史料が主に所蔵されています。閉架すなわち書庫には、数々の文献が所狭しと収められています。パソコン検索によってお目当ての史料を手にするのも1つの方法ですが、何の目的もなく、古書独特の臭いで漂う書庫へ行って見て下さい。そして、どこでも良いから1つの書棚の1冊の本を手にして下さい。その本の内容は、つぶさには理解できないでしょう。それが史料と専門書の違いです。

和歌山大学には、経済書だけに限っても1922年設立の和歌山高等商業時代から連なる貴重な史料が豊富に眠っております。これらの文献は今まで多くの研究者から利用されてきました。そして、これからも人々の知見を広げる糧となるに違いありません。書庫の史料には様々なタイプのものがありますが、これについては詳しく述べませんが、これについては詳しく述べませんが、それは皆さんの目で確かめることだからです。



(経済学部講師 長廣利崇)

新着図書情報



「図書館に訊け! (ちくま新書 486)」

著者 : 井上真琴
サイズ : 258 p ; 18 cm
出版社 : 筑摩書房
発行年 : 2004.8 刊
価格 : 777 円 (税込み)
請求記号 : 015|||IM
配架場所 : 学生用図書コーナー (2 階)

本書は、「極私的、図書館利用テクニック」紹介本であり、主に図書館で調べものをして、勉強や研究に役立てたい人のための「図書館初級読本」である(序文より)。みなさんもこれを読み、図書館でどんどん調べものをして図書館の「アジな利用者」になってください。

下記のアドレスには、「大学生必読」とであると書評がありますのでご覧ください。

<http://www.bk1.co.jp/product/2468614/reviewlist>

夏季期間中の中高生図書館利用状況

平成 10 年度から、大学休業期間を活用して施設の利用開放を行なっています。

実施期間 : 平成 18 年 8 月 1 日 (火) ~ 31 日 (木)

除) 土曜・日曜・14 日 (月)・15 日 (火)

利用状況 : 利用者実数	42 人
利用者延べ人数	97 人
男女別利用者延べ人数	男子 45 人
	女子 52 人
中高生別延べ人数	中学生 41 人
	高校生 56 人



展示の案内

『絵画展』和歌山在住の画家 志磨隆氏の作品を展示
場所：展示・掲示コーナー（附属図書館入ってすぐ右）
期間：平成 18 年 11 月 2 日（木）～ 11 月 13 日（月）
9：00～16：30（祝日、休日は休館）



//編集後記//-----

いよいよ、後期が始まりました。読書の秋です。図書館をおおいに活用していただき読書三昧はいかがでしょう。図書館では、皆様とのコミュニケーションを図っていきたく思っております。どんな些細ことでも結構ですのでご質問、お問合せ、ご感想等を下記アドレスまでお寄せください。良き交流の場にしていきたく願っておりますので、よろしくお願いたします。(スタッフ一同)

編集・発行：和歌山大学附属図書館

TEL：073-457-7915

FAX：073-457-7919

e-mail：unyo@center.wakayama-u.ac.jp